



SMBC PRESENTS

大阪フィルハーモニー交響楽団

室内楽の愉しみ

IN TOKYO

2019年5月13日(月) 18:30開演

18:00開場 19:30終演予定

入場無料

ドホナーニ／弦楽三重奏のためのセレナーデより
Dohnányi/Serenade in C major for String Trio, Op. 10

ヒンデミット／ミニマックス(軍楽隊のためのレパートリー)
Hindemith/Minimax "Repertorium für Militärorchester"

バルトーク／ルーマニア民俗舞曲
Bartók/Romanian Folk Dances

ほか



金井信之
(クラリネット)



崔 文洙
(第1ヴァイオリン)



須山暢大
(第2ヴァイオリン)



木下雄介
(ヴィオラ)



近藤浩志
(チェロ)

三井住友銀行東館 ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン

お問合せ 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
株式会社三井住友銀行 06-6227-2513

主催 株式会社三井住友銀行

SMBC PRESENTS
大阪フィルハーモニー交響楽団
室内楽の愉しみ
IN TOKYO

崔文洙 MUNSU CHOI, 1st VIOLIN

東京生まれ。篠崎功子、久保田良作、江藤俊哉の各氏に師事。桐朋学園大学ディプロマコースを経て、1988年ソヴィエト政府奨学金を受けモスクワ音楽院に留学。ワレリー・クリモフ、セルゲイ・ギルシェンコの両氏に師事。1994年同音楽院を首席で卒業。数年に一度しか与えられない「ソリスト」の称号を外国人として初めて授与され、同大学院へ進み1997年帰国。同年小澤征爾氏に認められ新日本フィル・コンサートマスターに就任。2000年より同楽団のソロ・コンサートマスターを務める。2009年より大阪フィルの首席客演コンサートマスターに就任。ソリストとしても小澤征爾、クリスティアン・アルミンク各氏等と度々共演。ロシア伝統のヴァイオリン・メソードの日本における唯一の伝承者であり、その気品に満ちた芸術性は高く評価されている。故ロストロポーヴィチ氏から「素晴らしいヴァイオリニストにして芸術家である」と賞賛された。使用楽器:1661年製ニコラ・アマティ(グランドアマティ)。http://www.munsu-choi.com

須山暢大 NOBUHIRO SUYAMA, 2nd VIOLIN

都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。第1回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール第2位。シオン・ヴァレ国際ヴァイオリンコンクール入賞。ヴァイオリンをG・フェイギン、石川静、G・ブーレ、山口裕之、S・アシュケナージ各氏に師事。ソリストとしてセントラル愛知交響楽団、藝大フィルハーモニア、東京室内管弦楽団、Shlomo・Mintz指揮 Orchestre Dohnanyi Budafok、Spirit of Europe等と共演。これまでに、サイトウキネンオーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ、赤穂国際音楽祭プレコンサート、姫路国際音楽祭プレコンサート等多数出演。エビス・カルテットとしてベートーヴェン弦楽四重奏曲後期作品シリーズを毎年開催。日本各地の主要オーケストラにコンサートマスターとして客演した後、2018年大阪フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに就任。

木下雄介 YUSUKE KINOSHITA, VIOLA

岡山市生まれ。8歳から25歳までの17年間をイギリスで過ごす。マンチェスター・チータムズ音楽学校、英国北王立音楽大学を卒業。これまでに、今井信子、トーマス・リーブル、ウェンジョウ・リ、アネット・イッサーリス、デイヴィッド・タケノの各氏に師事。ロンドン交響楽団オーケストラアカデミー在籍。インソラーニ・カルテットのメンバーとしてイギリス各地で演奏。2009年メルボルンで開催された第1回アジア・パシフィック室内楽コンクールにてセミファイナリスト。2010年よりバロックオーケストラウォルフフィッシュ・バンドのヴィオラ奏者として活動後、2012年に日本帰国。これまでにイギリス・セント、倉敷、広島、マニラ、大阪、西宮にてソロリサイタルを開催。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団ヴィオラトップ奏者として活動する傍ら、岡山大学交響楽団にて後進の指導に情熱を燃す。

近藤浩志 HIROSHI KONDO, VIOLONCELLO

幼少より父にピアノ、母に声楽を師事する。京都市立堀川高校音楽科、東京藝術大学を経て、仏エコール・ノルマル、ブローニュ音楽院両校を首席で卒業。1996年第2回大阪国際室内楽コンクール入選。1996年、1997年松尾学術振興財団音楽コンクール最優秀賞を二年連続で受賞。1999年第3回大阪国際室内楽コンクール第4位ならびに特別賞受賞。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京ポップスオーケストラを経て、現在大阪フィルハーモニー交響楽団チェロトップ奏者。ソリストとして、ニューヨークのカーネギーホールなどでの活動をはじめ、国内外のオーケストラともコンチェルト等を多数共演。そのほか室内楽奏者として、アンサンブル・ベガを中心に活動。指導者として大阪音楽大学、神戸女学院大学、大阪芸術大学などで後進の指導にも力を入れている。ムジカ・セレナーターレベルより「この道」〈2017年〉、「ノスタルジア」〈2018年〉の二枚のソロアルバムCDをリリース。

金井信之 NOBUYUKI KANAI, CLARINET

ジャズ・サクソフォン奏者、アレンジャーであった父親、故金井陽一の影響を受け音楽の道を志す。桐朋学園大学を首席で卒業後、故フレデリック・フェネル氏の推薦を受けシカゴ・デュ・ポール大学修士課程に進む。クラリネットを、故北爪利世、故内山洋、磯部周平、ラリー・コムス、ジョン・ブルース・イェー、ローリー・ブルーム、各氏に師事。シカゴ交響楽団附属シビック・オーケストラ、広島交響楽団を経て現在大阪フィルハーモニー交響楽団第1クラリネット奏者。メキシコ・インストルメント・オアハカ国際音楽祭講師。メキシコ・プエブラ国際音楽祭ソロイスト及び客演指揮者。なにわ《オーケストラ》ウィンズ代表。相愛大学講師。立命館大学応援団吹奏楽部ミュージック・アドバイザー。



■ライジング・スクエアへのアクセス

地下鉄「大手町」駅 C14出口直結
(東京メトロ丸の内線・東西線・半蔵門線都営地下鉄 三田線)

JR各線「東京駅」丸の内北口から徒歩7分

※駐車場はございませんので各公共機関をご利用ください。